

『効果の見える治水事業』愛媛県 玉川ダム堰堤改良事業

愛媛県東予地方局玉川ダム管理事務所長 武智 省三

たけち しょうぞう



■玉川ダムの概要

- ①目的 多目的ダム
- ②経過 昭和41年着工、同46年3月竣工
- ③位置 今治市玉川町龍岡下
- ④河川名 二級河川蒼社川水系蒼社川
- ⑤諸元 重力式コンクリートダム
堤高:56.0m 堤体積:187,000m³
総貯水容量:9,900千m³
集水面積:38.1km²

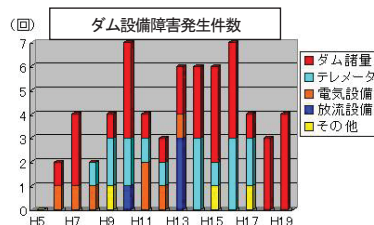


■事業の必要性・効果

玉川ダムは、蒼社川の洪水被害を軽減するとともに、今治地域において、農業用水の補給を行い、更に工業用水、上水道用水を確保している重要な施設です。

前回の施設の更新以来長期間経過し、毎年、情報処理設備や放流設備などの保守点検等を実施しているものの、施設の老朽化に伴い部品の交換を伴う故障が目立ち始め、さらには、部品の確保も年々困難な状況が生じてきました。

このため、堰堤改良事業によりダム管理施設の改良・更新を行い、放流操作・情報伝達の確実性・信頼性を向上させ、ダム管理の適正化及び効率化を図り、平成23年度に事業が完了しました。



■事業の内容

- 全体事業費 687百万円
- 事業期間 平成18年度～平成23年度
- 工事概要 ダム諸量情報処理設備更新
テレメータ・放流警報設備改良
放流設備改良

ダム諸量情報処理設備 (更新前)



ダム諸量情報処理設備 (更新後)



放流設備 (更新後)



テレメータ・放流警報設備 (更新後)



■「緑のダム (水源の森) の再生・保全について」

今治市長 菅 良二



今治市は、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海式気候に属し年間を通じて降水量が少なく(年間降水量約1,200mm)、比較的温暖な地域となっております。このような地域条件の中、平成6年の夏は全国的に平年の4~7割程度の降雨量しかなく、本市においても市制始まって以来という断水に追い込まれました。このような経験から、緑のダム(水源の森)の機能を再認識し、官民一体となって森林の育成、管理の機運が醸成されました。本市におきましては水道事業会計に「水源の森基金」を設置し、ダム上流の約10,000ha(内民有林約7,000ha)におよぶ森林において、これを財源として平成11年から23年までに民有林約680ha、公有林約60haの除間伐を実施しております。また、愛媛県においては、平成20年度より26年度までの7ヶ年間で、水源かん養機能等を向上させ安定的な水資源の確保を目的として、土砂流出防止の谷止工等の設置、荒廃森林の本数調整伐等を組み合わせた森林整備事業を実施しています。

今治市は昭和48年に全国第1号の緑の少年団が誕生した場所で、緑を愛し、緑を守り育てる意識の高い地域であり、今治市森林管理事務所指導のもと「今治地方水と緑の懇話会」が平成18年度から将来を担う小・中学生と枝落としや苗木の植栽作業を実施し、森林及び林業への理解を深める森林体験教室を毎年開催し多く児童・生徒の参加を得ております。さらに平成19年度からは、愛媛県・今治市・企業の三者協働による企業の森づくりを実施し、市民や一般企業等が“より良きパートナー(協働者)”として参加、活動しやすい環境づくりに努めています。

今後も愛媛県・民間ボランティア・企業のご協力を得ながら、「水と緑」の源泉を守り育て、緑のダム再生・保全に努めてまいりたいと考えております。



間伐された森林



水豊かな木地川



「水と緑の懇話会」活動



企業の森づくり